

# 認知症高齢者の居住環境における困難とその対応

## その2 トイレ以外での排泄に関する困りごと

正会員 ○鈴木 基恵\*  
同 橋本 美芽\*\*

認知症 高齢者 介護支援専門員  
居住環境 排泄

### 1. はじめに

認知症高齢者の人口上昇が予想され<sup>1)</sup>、その半数が在宅で生活している<sup>2)</sup>。認知症高齢者が在宅生活を継続するためには、居住環境に関連した困りごとを把握することが重要である。本報では前報の調査結果からトイレ以外での排泄に関する困りごとの詳細について報告する。

### 2. 分析方法

自由記述 111 事例から抽出された 268 項目について、排泄に関する内容を抽出し、その内容をトイレ以外での排泄、失禁、後始末、その他に分類した。分類にあたり、さらにその内容別に困りごと、原因、困りごとへの対応方法（人的対応、居住環境の工夫）に整理した。

### 3. 結果

51 事例、99 項目、209 要素が抽出された（表 1）。

#### 3-1. トイレ以外での排泄

困りごとは、トイレの場所がわからず室内を歩き回る、夜間になるとトイレの場所がわからず迷うなど家の中の徘徊、浴室や洗面所等のトイレ以外での排泄だった。原因は位置関係の把握が困難、トイレで排泄することの理解力低下、環境の変化等があげられた。

対応方法では、家族やヘルパーが付き添いトイレまで誘導する、家族による声掛けや見守り、定期的に家族やヘルパーがトイレに誘導するなどの人的対応が多かった。トイレまで矢印や貼紙を貼った、トイレの扉を外したなどの見分けやすさの工夫やベッドからトイレまで誘導用手すりを設置する、トイレまで直線で行けるようベッドを配置するなど居住環境の工夫もみられた。

#### 3-2. 失禁

困りごとは、失禁行為だけでなく、着替えさせないなどの更衣拒否や失禁による衣服や部屋の汚れもあげられた。原因は自分でできると思い込んでいるなどの対処能力の低下や、介護者が高齢、独居による介護力不足などの介護力の低下があげられた。

対応方法では、見守り・声掛け、誘導に加え、更衣介助に関する記述もみられた。デイサービスを利用し生活リズムを構築するなど、他に比べ通所サービスの利用が多いことが特徴的である。居住環境の工夫はリハビリパンツや防水シーツなどの失禁対策がほとんどで、衣類や部屋の汚れに対する工夫は見られなかった。

#### 3-3. 後始末

困りごとは、汚れたオムツや尿パッドが室内に落ちている、紙オムツ内の便を触るなどの排泄処理に関することだった。原因は汚いものの認識がないなどの対処能力の低下や家族の認知症への理解不足があげられた。対応方法は見守り・声掛けや家族による処理のほか、訪問サービスや施設の短期入所、通所サービスの利用など人的対応が大半を占めた。

### 4. 考察

トイレ以外での排泄に関する困りごとの原因は、認知機能の低下もあるが、介護力の低下や認知症への理解力の乏しさなど介護者によるものもあげられた。人的対応が中心で、住宅への工夫が一部みられるものの福祉用具の利用が多かった。

介護支援専門員を調査対象としたことで詳細に把握できた部分もあるが、居住環境の工夫による対応は十分とは言えないことも把握された。例えばトイレまでの誘導策として色の工夫や足元灯の設置等が考えられる。失禁や後始末の対応では清掃しやすい床、壁の変更や汚れに強い床材・壁材の利用なども想定される。トイレ以外での排泄については、こうした環境面からの支援策を検討する余地があることが把握された。

### 5. まとめ

認知症高齢者が在宅生活を継続するためには、医療、福祉、建築などさまざまな分野から支援方法を検討することで支援の幅が広がり、支援の質を上げられると考える。居住環境に関連した困りごとはほかに徘徊、火の始末、家電操作、服薬管理など多岐に渡る。今後はトイレでの排泄も含め、困りごとを詳細に把握し、居住環境の工夫の具体的な提案が行えるよう調査、研究を進める。

### 参考文献

- 1) 厚生労働省:「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」報告書(平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業), 2015
- 2) 厚生労働省:認知症高齢者数について, 2012.8.24  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002iau1.html>  
本研究は平成 27~29 年度学術研究助成基金(基盤研究(C))による研究(課題番号:15K01470)の一部である。平成 28 年度首都大学東京荒川キャンパス研究安全倫理委員会の承認を得て実施した。(承認番号:16056)

表1 トイレ以外での排泄に関する困りごととその対応方法

( ) 内の数字は事例数

	困ったこと (選択肢)	困りごと	原因	困りごとへの対応方法	
				人的対応	居住環境の工夫
トイレ以外での排泄 (20)	部屋の位置がわからない(18)	【家の中の徘徊】 トイレの場所がわからず室内を歩き回る(6)/夜間になるとトイレの場所がわからず迷う(3)/トイレに行けない(2)/転居等で部屋が変わり混乱する(2)/トイレに行けない(1) 【トイレ以外で排泄】 トイレ以外(浴室、洗面所、台所、廊下、玄関、ベランダ、家具、壁など)で排泄する(13)	【位置関係の把握困難】 部屋の位置関係がわからない(5)/空間を認識できない(1) 【環境の変化】 夜間と昼間で見え方が異なり理解できない(2)/転居による生活空間の変化(1)/2階から1階へ居室変更(1) 【動作の理解力低下】 動作がスムーズに行えない(1)/トイレで排泄することの理解低下(1)/排泄方法がわからない(1)/慌てるできない(1)/家族とのトラブル後に発生(1)/意思疎通困難(1) 【医学的理由】 覚醒レベルの低下(1)/適切な治療を受けていない(1)	【誘導】 家族やヘルパーが付き添いトイレまで誘導する(5)/手引き誘導(1) 【見守り・声掛け】 家族による声掛け(3)/見守り・独りにしない(3)/家族が繰り返し場所を説明(1) 【時間排泄】 定期的に家族やヘルパーがトイレまで誘導する(2)/生活習慣に組み込む(1) 【通所サービス利用】 デイサービス利用し生活リズムを構築(2)	【見分けやすさの工夫】 トイレまで矢印や貼紙を貼った(3)/扉に貼紙をした(2)/人感センサー照明を設置した(1)/トイレの扉を外した(1)/トイレの扉を開けっ放しにした(1) 【動線の整理・誘導】 ベッドからトイレまで誘導用すりを設置(1)/トイレに近い所に居室を移す(1)/トイレまで直線で行けるようベッドを配置(1)/家具の配置変更によりトイレまで誘導(1)/ポータブルトイレの配置変更による誘導(1) 【早期発見】 徘徊センサーマットの使用(1) 【失禁対策】 リハビリパンツ・紙オムツの使用(3)
	トイレ以外で排泄する(14)				
失禁 (21)	トイレ以外で排泄する(19)	【失禁】 失禁が多い(5)/失禁(3)/紙パンツ・尿パッド等を使用するも失禁する(2)/夜間、紙パンツ・リハビリパンツを脱ぎ失禁(2)/睡眠中の失禁(1)/尿・便失禁(1)/失禁を取り繕う(1)/尿臭するが失禁を否定する(1) 【更衣拒否】 着替えさせない(5)/尿パッドを交換させない(1)/着替えなため尿臭がする(1)/介護拒否(1) 【衣類・部屋の汚れ】 尿失禁によりズボンが汚れる(1)/寝具等の汚れ(1)/部屋に排便あり(1)/床が便で汚れる(1)	【対処能力の低下】 自分でできると思い込んでいる(3)/尿意が曖昧(1)/問題への対処能力低下(1)/指摘されたり指示されることが嫌い(1)/失禁していると思っていない(1)/失禁していることを知られたくない(1)/認知機能の低下(1) 【ズボン等を脱ぐ】 オムツから陰部を出す(1)/布団に入るとズボンを脱ぐ(1) 【介護拒否】(1) 【介護力の低下】 介護者が高齢(2)/介護者就労による介護力不足(1)/独居による介護力不足(1)/介護者との人間関係の悪化(1)/家族がリハビリパンツを拒否されると思いはかせられなかった(1) 【対応の遅れ】 ケアマネージャー介入までに時間を要した(1) 【医学的理由】 泌尿器科手術の拒否(1)/適切な治療を受けていない(1)/便秘薬の効きすぎ(1)	【見守り・声掛け】 自尊心を傷付けない声掛け(3)/家族による定期的な声掛け(1)/怒らないで対応する(1)/家族以外から声掛け(1)/家族が排泄手順を声掛けする(1)/朝、家族が電話で起こす(1)/ケアマネージャー訪問、電話連絡増やす(1) 【誘導】 家族がトイレまで付き添い誘導する(1) 【定時にトイレ誘導】(2) 【気分転換をはかる】(1) 【更衣介助】 家族による尿パッド管理(1)/替えの尿パッドや着替えを多めに用意する(1)/毎朝更衣介助(1)/毎日シーツ交換(1)/ヘルパーによるオムツ交換・着替え(1)/外出目的による更衣介助(1) 【通所サービス利用】 施設での入浴時に紙パンツ交換(1)/施設でズボン貸出(1)/デイサービス利用し生活リズム構築(1)/清潔保持(2)/施設でリハパンツに慣れる(2) 【訪問サービスの利用回数を増やす】(1) 【医学的対応】 泌尿器科手術(1)/受診(1)/薬の調節(1)	【福祉用具の利用】 ポータブルトイレ利用(2)/尿器利用(1) 【失禁対策】 リハビリパンツ利用(5)/防水シーツの利用(2)/大きめの尿パッド使用(1)/ベッド周囲に吸水パッド敷く(1)/使いやすいリハビリパンツ・尿パッドを紹介(1) 【見つけやすさ】 目につきやすいところにトレーニングパンツをおく(1)
	尿意・便意を伝えられない(9)				
後始末 (8)	リハビリパンツ・尿パッドの処理ができない(5)	【リハビリパンツ・尿パッド処理】 汚れたオムツや尿パッドが室内に落ちている(3)/汚れた尿パッド等を自分で処理し汚す(1) 【排泄の処理】 紙オムツ内の便を触る(1)/便の処理がしきれず部屋に持ち帰る(1)/紙オムツ内の尿・便を触り、周囲に手を付けてふく(1)/素手で便を拭き台所で手を洗う(1)	【対処能力の低下】 汚いものの認識がない(1)/自分でできると思い込んでいる(1)/排泄方法がわからない(1) 【介護拒否】(1) 【介護力不足】 家族の介護力不足(1)/家族の認知症への理解不足(1)	【見守り・声掛け】 自尊心を傷付けない声掛け(2)/見守り・声掛け(2) 【家族による処理】(1) 【訪問サービスの利用】 ヘルパーの利用回数を増やす(1)/ヘルパーによるオムツ交換・着替え(1) 【施設の短期入所による排泄動作訓練】(1) 【通所サービスの利用回数を増やす】(1) 【後始末の確認による対策の検討】(1)	【失禁対策】 紙パンツの利用(1)/リハビリパンツ導入(1) 【早期発見】 徘徊センサーマットの使用(1)
	便の処理(ろう便等)(3)				
その他 (2)	夜間頻尿(1)	【頻尿により家族を何度も起こす】(1) 【行動の混乱】 家族の声掛けに適切に対応できない(1)	【医学的理由】(1) 【家族の認知症の理解不足】(1)	【通所サービスの利用】 さまざまな施設サービスの利用による在宅時間の短縮(1)/通所サービスの送迎時刻調整による独りになる時間の短縮(1)	【福祉用具の利用】 尿器利用(1) 【外出環境の整備】 車椅子・スロープ・手すり設置(1)
行動の混乱(1)					

\* 横浜市総合リハビリテーションセンター・修士 (工)

\* Yokohama Rehabilitation Center, M. Eng.

\*\*首都大学東京大学院人間健康科学研究科・博士 (工)

\*\*Tokyo Metropolitan University, Dr. Eng.